埼玉県学力・学習状況調査（中学校）書くこと

復習シート 第一学年 国語

組	番号	名前

1 【加筆したことにより生まれる効果を考えて書く問題】 レベル9・10

鈴木さんは、春日部市について調べたことをまとめて発表する学習に取り組んでいます。次は、発表に向けてまとめた**【メモ】**と**【発表原稿の下書き】**です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【メモ】

春日部について
○住みやすく便利なまち
・田畑や果樹園がある
・住宅や店舗がある
○交通の便がよい
・埼玉と千葉をつなぐ鉄道がある
・東京と埼玉、栃木をつなぐ鉄道がある
・埼玉を東西と南北に走る国道がある
○伝統工芸や伝統行事がある
・桐たんすや麦わらぼうしを作っている
・様々なまつりがある

【発表原稿の下書き】

私は、住んでいるまち春日部について調べました。春日部は、田畑や果樹園があり、米や野菜、果物が獲れます。また、土地の高いところには住宅や店舗があります。最近、大きなショッピングモールもでき、買い物もとても便利です。

まちとして発展してきたのは、東西や南北に延びる「東武スカイツリーライン」や「東武アーバンパークライン」という鉄道や、「国道四号」や「国道十六号」といった大きな国道があるからです。【①】

【②】桐たんすや麦わらぼうしづくりといった伝統工芸や、様々なまつりなど伝統行事も残っていて、素晴らしい文化も残っています。

今回調べてみて、春日部という、自分が住んでいるまちの素晴らしさに改めて気付くことができました。

(1) 発表をより分かりやすくするために、**【発表原稿の下書き】**の**【①】**【②】のどちらかに次の文を加えます。あなたなら、どちらの文を加えますか。次の**【発表原稿に加える文】のうち一つ**を選び、あとの**条件**にしたがって具体的に書きなさい。

【発表原稿に加える文】

①に加える文…このため、人や物を運ぶことが便利になり、発展してきたのです。
②に加える文…また、「便利なまち」だけでなく、「伝統のあるまち」でもあります。

条件1 二段落構成で、**三行以上、五行以内**で書くこと。
条件2 一段落目には、**【発表原稿に加える文】**のうち、どちらを加えるか一つを書くこと。（選んだ文は①、または、②という番号を使って書くこと）
条件3 二段落目には、**その文を加えたことによってどのような効果があるのか**を具体的に書くこと。

5行　　3行

復習シート 第一学年 国語

組	番号	名前

模範解答

1 【加筆したことにより生まれる効果を考えて書く問題】

鈴木さんは、春日部市について調べたことをまとめて発表する学習に取り組んでいます。次は、発表に向けてまとめた**【メモ】**と**【発表原稿の下書き】**です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。 レベル9・10

【メモ】

春日部について
○住みやすく便利なまち
・田畑や果樹園がある
・住宅や店舗がある
○交通の便がよい
・埼玉と千葉をつなぐ鉄道がある
・東京と埼玉、栃木をつなぐ鉄道がある
・埼玉を東西と南北に走る国道がある
○伝統工芸や伝統行事がある
・桐たんすや麦わらぼうしを作っている
・様々なまつりがある

【発表原稿の下書き】

私は、住んでいるまち春日部について調べました。春日部は、田畑や果樹園があり、米や野菜、果物が獲れます。また、土地の高いところには住宅や店舗があります。最近、大きなショッピングモールもでき、買い物もとても便利です。

まちとして発展してきたのは、東西や南北に延びる「東武スカイツリーライン」や「東武アーバンパークライン」という鉄道や、「国道四号」や「国道十六号」といった大きな国道があるからです。【①】

【②】桐たんすや麦わらぼうしづくりといった伝統工芸や、様々なまつりなど伝統行事も残っていて、素晴らしい文化も残っています。

今回調べてみて、春日部という、自分が住んでいるまちの素晴らしさに改めて気付くことができました。

(1) 発表をより分かりやすくするために、**【発表原稿の下書き】**の**【①】**【②】のどちらかに次の文を加えます。あなたなら、どちらの文を加えますか。次の**【発表原稿に加える文】のうち、一つ**を選び、あとの**条件**にしたがって具体的に書きなさい。

【発表原稿に加える文】

①に加える分…このため、人や物を運ぶことが便利になり、発展してきたのです。

②に加える文…また、「便利なまち」だけでなく、「伝統のあるまち」でもあります。

条件1 二段落構成で、**三行以上、五行以**

条件2 一段落目には、**【発表原稿に加え**

と。（選んだ文は①、または、②と

条件3 二段落目には、**その文を加えた**

的に書くこと。

条件にあった文章で書かれているかを確認しましょう。
条件2は、「一つ」と限定しています。
条件3の「効果」については、解答例①・②のことなどに触れて書きましょう。

解答例①

私は、①を加えて書きます。

「なぜ、鉄道や国道があるとまちが発展するのか」について説明することで、説得力のある発表になるからです。

解答例②

私は、②を加えて書きます。

前の段落で「便利なまち」について説明しているので、「伝統のあるまち」であることをはじめに示すとわかりやすくなるからです。

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）書くこと

復習シート 第一学年 国語

組	番号	名前

【目的や意図に応じて内容の中心を明確にして書く問題】

1 上原さんは、「身近な言葉」について、考えたことを文章にまとめました。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 レベル7～9

言葉は移り変わるとも言われますが、私は、正しい言葉のつかい方を知ることが大事であると考えます。

最近、私たちの周りでは「やばい」という言葉がよく使われます。先日、私が母と筆箱を買いに行ったときのことです。とてもかわいらしい筆箱を見つけ、私が母に

「この筆箱、やばいね。」

と言いました。その時、母は

「どうして？とてもかわいい、良い筆箱だと思うけど。」

と、不思議そうに言いました。私には、母が「どうして？」と聞き返した理由が分かりませんでした。このことを、後から思い返すと、わたしが良い意味で「やばい」と表現したことを、母は、良くない意味でとってしまったのではないかと思いました。そこで、「やばい」の意味を辞書で引いてみました。すると、「不法であぶない。つごうがわるい。」とありました。つまり、私が本来とは違う意味で「やばい」という言葉を使ったために、母に上手く伝わらなかったのだ。

このように、私たちは言葉の本来の意味を深く考えずに使っていることが多くあります。そのため、時として全く反対の意味として相手に伝わってしまうこともあるのです。だからこそ、［　　］が大切だと考えるのです。

1 第二段落ではどのような工夫をしていますか。その工夫を説明したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

1 読み手に印象を強めるために、一番伝えたいことをはじめに述べている。
2 自分が伝えたいことをくわしく示すために、具体的な事例を取り上げている。
3 自分の考えを強調するために、複数の事がらに共通する点をまとめている。
4 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。

2 ――線部について、適切な表現となるように正しく書き直しなさい。

（　伝わらなかったのだ　）→（　　）

3 本文の内容に合うように［　　］内の文を十五字以内で書きなさい。

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）書くこと

復習シート 第一学年 国語

組	番号	名前

模範解答

【目的や意図に応じて内容の中心を明確にして書く問題】

1　上原さんは、「身近な言葉」について、考えたことを文章にまとめました。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 レベル7～9

一　言葉は移り変わるとも言われますが、私は、正しい言葉のつかい方を知ることが大事であると考えます。

二　最近、私たちの周りでは「やばい」という言葉がよく使われます。先日、私が母と筆箱を買いに行ったときのことです。とてもかわいらしい筆箱を見つけ、私が母に

「この筆箱、やばいね。」

と言いました。その時、母は

「どうして？とてもかわいい、良い筆箱だと思うけど。」

と、不思議そうに言いました。私には、母が「どうして？」と聞き返した理由が分かりませんでした。このことを、後から思い返すと、わたしが良い意味で「やばい」と表現したことを、母は、良くない意味でとってしまったのではないかと思いました。そこで、「やばい」の意味を辞書で引いてみました。すると、「不法であぶない。つごうがわるい。」とありました。つまり、私が本来とは違う意味で「やばい」という言葉を使ったために、母に上手く伝わらなかったのだ。

三　このように、私たちは言葉の本来の意味を深く考えずに使っていることが多くあります。そのため、時として全く反対の意味として相手に伝わってしまうこともあるのです。だからこそ、［　　］が大切だと考えるのです。

1　第二段落ではどのような工夫をしていますか。その工夫を説明したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

1　読み手に印象を強めるために、一番伝えたいことをはじめに述べている。
2　自分が伝えたいことをくわしく示すために、具体的な事例を取り上げている。
3　自分の考えを強調するために、複数の事がらに共通する点をまとめている。
4　読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。

※第二段落は、わたしと母のやりとりが「正しい言葉のつかい方を知ることが重要」であることの、具体的な事例となっています。

2

2　――線部について、適切な表現となるように正しく書き直しなさい。

（　伝わらなかったのだ　）→（　伝わらなかったのです。　）

※文末表現を敬体にそろえましょう。

3　本文の内容に合うように［　　］内の文を十五字以内で書きなさい。

例　正しい言葉のつかい方を知ること（十五字）
例　言葉を正しくつかうこと（十一字）
例　本来の意味にあった言葉づかい（十四字）

※一段落目に、「正しい言葉のつかい方を知ることが大事であると考えます。」とあることを押さえましょう。